

# あさひっ子だより



発行責任者 校長 菅野芳弘 発行日：令和3年8月23日

## 「コロナ禍」に負けず2学期 スタート！

コロナ禍の中、2年目の夏休みが終わりました。今年は東京オリンピックが開催され、子どもたちにとっても、さまざまな学習の機会になったと思います。今回の夏休みでは、コロナウイルス感染症の状況が福島県での過去最高、全国でもさらに拡大する状況となりました。さらに、お盆の豪雨災害等、大変な夏休みだったと思います。その中で、子どもたちの安全が無事確保され、全員元気に2学期をスタートできることに感謝したいと思います。

2学期が始まりますが、コロナウイルス感染症の状況は、まだまだ大変な状況が続きます。メールでもお知らせしましたが、本校でも、9月実施予定だった修学旅行を10月に延期することにしました。しばらくは、教育活動の変更も余儀なくされることも出てくるかと思えます。感染症対策をしっかりと行いながら、できるだけ教育活動の充実を図っていきたいと思います。2学期もどうぞ、よろしくお願いします。

### 夏休み中、二本松市子ども司書講座に参加

二本松市では、子ども達に図書館の役割や司書の仕事を学び体験することにより、読書の楽しさや大切さを友だちや家庭に広く伝えていく子ども読書推進リーダーを養成するため、夏休みに子ども司書講座を行っています。

本校でも2名参加しました。読み聞かせの実習やおすすめ本のPOP作り、県立図書館・岩代図書館の見学も行いました。夏休み中、計6回の計画で行いました。

子ども達は、夏休み中もがんばりました。コロナ禍だからこそ、おうち時間も増えることを利用して、ぜひ、たくさんの本に触れてほしいですね。



### コラム「子育て」 差別や偏見、子どもと共に考える

1学期には、新型コロナウイルス感染症について、親子で考える取組として道徳科の資料やワークシートを家庭に持ち帰り、親子で差別や偏見等の問題について話し合う機会を設け、コメントや感想をご提出いただき、お忙しい中、本当にありがとうございました。

本校の保護者の皆様が、真摯にお子さんと向き合い、その成長を感じ取ったり、親としての思いを再確認したりしてくださいました。必要感と切実感が、親子で共有できるものであったと思います。

このような取組は、差別・偏見等の事例があってからでは遅いので、今後も継続して取り組ませていただきたいと思います。感染者とご家族等を守るための取組です。いつ、だれが感染症にかかってもおかしくない状況が続いています。お忙しい中、申しわけありませんが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

※ 学校の様子については、旭小学校ホームページでも紹介しています。下のQRコードからスマートフォン等でもご覧いただけます。



<https://www.city.ninomatsu.lg.jp/sch/19.html>  
0000e6ed/e6ed/100